（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	遠山郷から森林を生かした炭素循環農法による地域おこし事業
事業主体 （連絡先）	遠山郷観光協会 長野県飯田市南信濃和田　５４８－１
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大（イ 農業の振興と農山村づくり）
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	501,180 円（うち支援金：385,000 円）

事 業 内 容

耕作放棄地を有効活用し、飯田市オーガニックビレッジ宣言に沿った化学肥料・農薬に依存しない炭素循環農法の実践そして新規就農を目指す方も農業の勉強・体験できるイベントを開催。イベント名：　畑のじかん　毎月開催

2)自然の中で食べられる野草を教わりながら食と農業の大切さを共に学ぶイベントとして「おやまの食事会（野草をおいしく）」を２日間　開催。

第１回 12 月 15 日（月）第２回 12 月 16 日（火）



【　イベント：畑のじかん　】

事 業 効 果

①炭素循環農法実践 モデル畑 2026 年 1000 平米のうち 400 平米を活用（40%達成）

②体験イベント期間 4 月～11 月（7 月～8 月は、熱中症リスクのため開催を中止し、協会員による草刈りを実施し畑を管理）計 5 回開催(4 /19,6/12,6/19,9/18,10/25）で参加者総数は 7 名（リピート参加者 1 名）

③おやまの食事会　2 回開催(12/15,12/16)　8 名参加(協会会員招待を含む)

総参加者数　15 名（目標 100 名の 15%達成）

【目標・ねらい】

①モデル畑 2026 年 1000 平米へ

②体験イベント期間 4 月～11 月

年間参加者数 100 名（月 10 名ほどの参加）リピート参加者の割合 20%

※自己評価【B】

【理由】

イベント参加者が目標よりはるかに少なく、イベント内容及び案内方法に工夫・改善の余地がある。水窪町に限らず天龍村や阿南町とも地域交流を進める必要性を認識した。

今後の取り組み

① 地元就農者が少なく、また公共交通などアクセスが不便なことから今後農業体験のみでは集客が見込めないため　他の体験プログラム（低山登山、ジオツアー、ハイキングなど）と「食」を組み合わせた企画により参加者増を目指す。

② 協会ホームページ、SNS の他　Peatix などイベント案内プラットフォームも積極的に活用したい。

③ 「おやまの食事会」で、災害時の非常食として野草が利用できることを知り今後、摘み草のほか栽培した野菜を用いた保存食づくりや、防災拠点としての機能を持つ道の駅遠山郷で非常食体験イベントを企画したい。

④ 地域おこし協力隊と協力し、水窪町、天龍村、阿南町をはじめ近隣市町村との連携を進める。



【イベントおやまの食事会】